

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名> 早産児における臍帯血テストステロン値に影響を与える臨床因子に関する検討
<研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 小児科/新生児科 (研究代表者) 長野伸彦
<研究期間> 承認日から令和7年(西暦2025年12月31日)
<研究の目的と意義> 胎児期の子宮内の環境変動が尿道下裂や停留精巣・精子数減少といった一連の男性生殖器疾患の発症に関与する研究が近年注目されていますが、出生時の男性ホルモンの詳細は明らかではありません。本研究では、早産児の出生時(臍帯血)の男性ホルモン(テストステロン)値を測定し、その値に影響を与える児と母体の臨床的背景について検討します。早産児の出生時の男性ホルモンについて明らかにすることにより、将来的には生殖器疾患の病態解明の一助となり、母体と児に対する保健指導に貢献できると考えています。
<利用する試料・情報の項目> ・ 臍帯血 診療記録より(母体情報、児の性別、在胎週数、出生時の体重・身長・頭囲・胸囲、性別、アプガースコア、合併症、血液検査結果等を電子カルテから収集します。母体情報(児の背景)として出産時年齢、妊娠前・出産時BMI、高血圧・糖尿病の既往、妊娠高血圧の有無等の情報を使用いたします。
<対象となる方> 2019年5月1日から2022年9月30日の期間に、日本大学板橋病院新生児科NICUに入院した児
<研究の方法> 2019年5月から2022年9月の間に、日本大学板橋病院で出生した早産児の観察項目(性別、在胎週数、出生時の体重・身長・頭囲・胸囲、アプガースコア、胎盤重量、血清テストステロン値等)及びその母体の情報(出産時の年齢、体重、BMI、妊娠中の合併症等)を診療記録から収集する。児と母体の観察項目から児の出生時の血清テストステロン値に影響を与える因子を解析し後方視的に検討します。
<お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町30-1) 小児科/新生児科 氏名: 長野 伸彦 電話: 03-3972-8111 (PHS) 8616 日本大学病院(東京都千代田区神田駿河台1-6) 小児科 氏名: 田邊 聡美 電話: 03-3293-1711 (PHS) 5697